

銀行名	大垣共立銀行
タイトル	地域の「食」を全国へPRする、特色ある展示商談会の開催
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸銀行との連携協定締結をきっかけに、2007年（平成19年）より、東海地方と北陸地方の「食」の交流を中心とした展示商談会「ビジネス・サミット」を継続開催している。</li> <li>・当初は、当行と北陸銀行のほか三重銀行、第三銀行、大垣西濃信用金庫など近隣の金融機関と共同で開催していたが、2012年（平成24年）からは名古屋市、2014年（平成26年）からは岐阜県が共同開催者として参加した。民間の商談会に対し、後から行政が参加するという珍しい形となっている。</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジネス・サミット」の特徴は、東海地方と北陸地方で交互に開催するプロ同士の商談（B to B）に限定 商談テーマを設定する 展示会・商談会・ステージイベントの3つの行事を同時に行う、という4点である。</li> </ul> <p>具体的には、</p> <p>会場を東海と北陸と交互に行うことで、東海北陸地方全域への波及効果を狙っている。</p> <p>B to Bの商談にこだわり、一般市民の参加は不可とし、ニーズに合致する売り手・買い手との精度の高いマッチングを実現している。</p> <p>テーマは「食」を中心に、銀行員でも商談会へ勧誘しやすくするために消費財を軸とした商材を取り上げている。</p> <p>展示会は事前の研修を行う等、出展者へのサポート行うことで効果的な商談の実現を支援している。個別商談会はバイヤー（売り手）のニーズを公表し、エントリーがあったサプライヤー（買い手）からバイヤーが事前に商談先を決定する事前マッチング方式をとり、商談のニーズを近づける工夫をすることで成約件数増加を狙っている。ステージイベントは、基本的に出展企業の商材を紹介するための工夫を凝らしたコンテンツを提供している。なお、2016年6月9日に開催した「ビジネス・サミット2016」では、名古屋市内の有名シェフ3名がそれぞれのジャンル（純和食、和のスイーツ、和のソウルフード）で出展企業の商材を活用したオリジナルレシピを考案し、来場者の目の前で調理実演を行い試食までしてもらおうというイベントを開催した。</p> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海地方での開催は名古屋市内にて6回行われており、過去5回までの成約件数は426件、成約金額は184,651千円（月商ベース）にのぼる。</li> <li>2016年6月9日に開催した「ビジネス・サミット2016」では、展示会出展者106社、展示会来場者2,700名、個別商談会バイヤー107社、個別商談件数1,100件であった。なお、商談の成約件数・金額等は今後追跡調査を行っていく。</li> </ul>

銀行名	大垣共立銀行
タイトル	後継者問題の解決策としてのM & A事例
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属加工業を営むオーナーに対し、営業店担当者が、当社の事業承継についてヒアリングをしたところ、親族内に後継者が不在であることが判明。</li> <li>・営業店担当者より事業承継手法としてM &amp; Aがあることを伝え、本部と連携し具体的なM &amp; Aの流れや想定できる相手先の業種などを説明。</li> <li>・オーナーより、正式にM &amp; Aを検討したいとの要請から、当行と業務提携関係であるコンサルティング会社を紹介した。</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買収企業候補の選定では、コンサルティング会社の保有する情報だけでなく当行が把握している情報も活用し、協働にて行っている。</li> <li>・譲渡企業は、自社の精密な金属加工技術に強みを持つものの、基本的に営業は行わっておらず事業の拡大が思うように図れていなかった。</li> <li>・当行が把握している買収ニーズの中で、鉄鋼商社が自社製品に付加価値をつけたいとの思いから製造業分野への進出を希望していたことから、両社をマッチングさせることで、譲渡企業は自社の弱みである営業力を買収企業の営業力を借りることで補完され、買収企業も、金属加工を行う会社をグループ化することで、自社製品に付加価値の向上が期待できると考えた。</li> <li>・結果的に、両社とも上記の相乗効果に期待し成約となった。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・譲渡企業において、後継者問題を抱える企業（従業員の雇用）の存続が図れた。</li> <li>・買収企業において、自社の付加価値を高めることができ、新たな事業展開を図れる体制整備が実現した。</li> </ul>

銀行名	大垣共立銀行
タイトル	熊本地震に対する「災害緊急対策融資」の取り扱い
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b>  ・熊本地区を中心に甚大な被害が発生した「熊本地震」による直接的・間接的に影響を受けた当行営業エリア内の法人・個人事業主に対し資金面での支援を行うべく緊急対策融資の取扱を開始。</p> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b>  対 象 先：熊本地震により直接的・間接的に被害を受けた法人および個人事業主  金 額：(1取引先ごと) 50百万円以内  資金使途：熊本地震の影響による必要事業資金  取扱期間：平成28年4月21日～9月30日  適用金利：1.475% (当行短期プライムレート - 0.5%) 以上の変動金利  保証協会保証付は 0.2%  融資形態：手形貸付、証書貸付  返 済：期日一括返済、元金均等返済  期 間：7年以内</p> <p>罹災証明書等の提出は必須とせず、被害状況の実態を確認の上柔軟に対応できる商品。</p> <p><b>【成果（効果）】</b>  ・現在のところ本商品での融資実行実績はないがお取引先からお問い合わせはあり、認知はされている。  当行としてはお客様との対話を通じて、本商品以外での支援も行っている。</p>

銀行名	大垣共立銀行
タイトル	地域中核的企業（ローカルスーパー）の事業再生
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当社は、岐阜県下の大垣市・岐阜市を中心に、合計22店舗の店舗網を有し、有用な経営資源を有していた。また、中小規模の店舗を面的に展開しており、地域住民の重要な生活必需品購入機会となっていた。</li> <li>・近年、商圈での競合出店が相次いだことにより、売上高は徐々に低下、ピーク時の約2分の1となった。また、売上低下に伴い赤字が恒常化、借入金が増加し、資金繰りが次第に逼迫しつつあった。</li> <li>・このような状況下、当社への事業再生を支援することとした。</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行は事業性を評価した結果、抜本的金融支援策を講じ、当社事業を再生する意義が大きいと判断。スポンサーの支援による再建を目指し、当行ら金融機関及びスポンサーと協議の上で、REVICへの申込に至った。</li> <li>・店舗改革による売上の向上、組織改革・従業員教育の徹底によるサービス向上・店舗オペレーションの効率化、財務管理体制の構築等による管理体制の徹底等を事業計画の骨子とし、再生に臨んだ。</li> <li>・再生スキームとしては、第二会社方式を採用した。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全店舗の営業継続により、引き続き消費者の信用を集めており、地域住民の重要な生活必需品購入機会を維持することができた。また、仕入先は地元卸売業者が中心であり、地域経済の維持・発展に寄与していることに加え、約700名の従業員も雇用が継続されている。</li> <li>・同社の再生は地域雇用の安定、商取引の維持に貢献、ひいては地方創生に資する取組として認識している。</li> </ul>

銀行名	大垣共立銀行
タイトル	「OKBストリート」を起点とした地元商店街の活性化策の実施
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行は、地域金融機関として、地元と一体となった商店街活性化への取り組みをすすめている。</li> <li>・地元の大垣市内にある大垣郭町商店街振興組合をはじめ、大垣市、大垣まちづくり株式会社、総務省（ ）等と広く連携し、当行本店とJR大垣駅を結ぶ通りに位置する大垣郭町商店街のアーケードに「OKBストリート」の愛称を命名。これを起点として、商店街活性化に向けた各種取組みを展開。</li> <li>・これらの取組みを通して、地域金融機関として、大垣らしい魅力ある町づくりに継続的に貢献。</li> </ul> <p>（ ）総務省・耐災害ICT研究開発の成果活用  ...情報通信ネットワークの耐災害強化のための研究開発（大規模災害においても通信を確保する耐災害ネットワーク管理制御技術の研究開発）</p> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストリートサイン・ストリートフラッグの設置 OKBストリートを視覚に訴え、商店街の認知度アップを図るべく、アーケードにストリートサインとストリートフラッグを設置。</li> <li>・ベンチの設置 心地良く滞在できる商店街づくりの一環として、デザイン性に優れたベンチを設置。</li> <li>・防災・防犯灯の設置 安心安全な商店街の一助とすべく、LEDライトや防犯カメラ等を設置。</li> <li>・各種イベントの実施（主な実施イベントを記載）  地元メディアの情報発信力・番組制作力の活用  大垣郭町商店街と地元ラジオ局をマッチング。大垣で行われる祭りにタレントを招致し、ステージイベントやラジオ番組の公開収録を実施。  「OKBストリートバス」の運行  商店街での消費喚起および認知度アップを狙いとして、市内を中心に運行する路線バス1台をラッピング。さらにバスを対象としたフォトコンテストを実施。  「OKBストリート」誕生2周年記念企画の実施  商店街の一角で、地元大学生の協力によるキャンドルアート、地元で活動するミュージシャンによるJAZZ演奏等を実施。  また、併せて商店街アーケードのイルミネーションを実施。</li> <li>・OKBストリートジャーナルの発刊 大垣郭町商店街や各商店の魅力を地域住民へ発信することを目的に、情報誌「OKBストリートジャーナル」を年3回程度発行。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストリートサイン・ストリートフラッグの設置および、各種イベントなどがメディアで取り上げられることによる商店街の認知度アップ。</li> <li>・まちなみとの調和に配慮したベンチの設置により、くつろぎ空間の創出。また防災・防犯灯設置により安心安全なまちづくりに貢献。</li> <li>・OKBストリートジャーナルによる情報発信を通じて、商店街の賑わいを創出。</li> <li>・「商店街活性化」に対する関係者の意識の変革。</li> </ul>

銀行名	大垣共立銀行																																																				
タイトル	地方銀行連携「地方からの贈り物」プロジェクト																																																				
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元特産品生産業者の販路拡大等の支援策として、通販カタログを利用したスキームを検討し、当行を含む地方銀行6行とリッキービジネスソリューション(株)（通販カタログ運営会社）が共同で、「地方銀行連携『地方からの贈り物』プロジェクト」を発足させた。</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト参加銀行取引先企業の商品を集めた通販カタログを制作するべく、参加銀行が掲載を希望する企業を募集し、通販カタログ運営会社に紹介する。</li> <li>・上記紹介にて制作された通販カタログ「地方からの贈り物」を参加銀行の営業店舗内に設置する。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <table border="1" data-bbox="454 987 1430 1630"> <thead> <tr> <th>カタログ</th> <th>申込期間</th> <th>参加行</th> <th>掲載商品数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Vol. 1</td> <td>H22.11.29～H23.5.20</td> <td>6行</td> <td>231</td> </tr> <tr> <td>Vol. 2</td> <td>H23.5.23～H23.11.30</td> <td>7行</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>Vol. 3</td> <td>H23.11.28～H24.5.31</td> <td>10行</td> <td>262</td> </tr> <tr> <td>Vol. 4</td> <td>H24.6.1～H24.11.30</td> <td>11行</td> <td>309</td> </tr> <tr> <td>Vol. 5</td> <td>H24.12.1～H25.5.31</td> <td>11行</td> <td>347</td> </tr> <tr> <td>Vol. 6</td> <td>H25.6.1～H25.11.30</td> <td>12行</td> <td>339</td> </tr> <tr> <td>Vol. 7</td> <td>H25.12.1～H26.5.31</td> <td>12行</td> <td>343</td> </tr> <tr> <td>Vol. 8</td> <td>H26.6.1～H26.11.30</td> <td>12行</td> <td>351</td> </tr> <tr> <td>Vol. 9</td> <td>H26.12.1～H27.5.31</td> <td>14行</td> <td>386</td> </tr> <tr> <td>Vol. 10</td> <td>H27.6.1～H27.11.30</td> <td>15行</td> <td>396</td> </tr> <tr> <td>Vol. 11</td> <td>H27.12.1～H28.5.31</td> <td>17行</td> <td>407</td> </tr> <tr> <td>Vol. 12</td> <td>H28.6.1～H28.11.30</td> <td>18行</td> <td>367</td> </tr> </tbody> </table> <p>今後も継続発行予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年11月の通販カタログ「地方からの贈り物」Vol. 1の開始以降、参加銀行も着実に増え、本通販カタログがより多くの地域に設置されている。</li> <li>・上記により、地域特産品の全国への知名度向上と新たな販路の拡大が図れているものと考える。</li> </ul>	カタログ	申込期間	参加行	掲載商品数	Vol. 1	H22.11.29～H23.5.20	6行	231	Vol. 2	H23.5.23～H23.11.30	7行	168	Vol. 3	H23.11.28～H24.5.31	10行	262	Vol. 4	H24.6.1～H24.11.30	11行	309	Vol. 5	H24.12.1～H25.5.31	11行	347	Vol. 6	H25.6.1～H25.11.30	12行	339	Vol. 7	H25.12.1～H26.5.31	12行	343	Vol. 8	H26.6.1～H26.11.30	12行	351	Vol. 9	H26.12.1～H27.5.31	14行	386	Vol. 10	H27.6.1～H27.11.30	15行	396	Vol. 11	H27.12.1～H28.5.31	17行	407	Vol. 12	H28.6.1～H28.11.30	18行	367
カタログ	申込期間	参加行	掲載商品数																																																		
Vol. 1	H22.11.29～H23.5.20	6行	231																																																		
Vol. 2	H23.5.23～H23.11.30	7行	168																																																		
Vol. 3	H23.11.28～H24.5.31	10行	262																																																		
Vol. 4	H24.6.1～H24.11.30	11行	309																																																		
Vol. 5	H24.12.1～H25.5.31	11行	347																																																		
Vol. 6	H25.6.1～H25.11.30	12行	339																																																		
Vol. 7	H25.12.1～H26.5.31	12行	343																																																		
Vol. 8	H26.6.1～H26.11.30	12行	351																																																		
Vol. 9	H26.12.1～H27.5.31	14行	386																																																		
Vol. 10	H27.6.1～H27.11.30	15行	396																																																		
Vol. 11	H27.12.1～H28.5.31	17行	407																																																		
Vol. 12	H28.6.1～H28.11.30	18行	367																																																		

銀行名	大垣共立銀行																								
タイトル	防災のための小冊子「おうちできちんとぼうさい」発行																								
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災をきっかけに、家庭内においても防災について話し合い、意識を高めていただけるよう「日頃の備え」や「災害時の行動」などの情報を掲載した防災冊子の制作を企画し、発行（平成26年10月）に至った。</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さまにも理解いただけるよう、漫画などを取り入れ読みやすい内容の冊子とした。また、本冊子内では災害時の備えとしてOKBが開発した、通帳・カードが不要で利用できる「手のひら認証ATM」についても紹介している。</li> <li>・このほか、本冊子に登場するキャラクターのデザインは、地元の短期大学（大垣女子短期大学 デザイン美術科）の協力を得ている。</li> <li>・平成27年3月、当初発行した「通常版」を一部改定し「岐阜県版」、「春日井市版」を新たに発行。各地方公共団体との連携により、地方色を強調した冊子とした。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>平成26年10月</td> <td>大垣市内小学校</td> <td>10,000冊</td> <td>寄贈</td> </tr> <tr> <td>平成26年12月</td> <td>海津市内小学校</td> <td>2,100冊</td> <td>寄贈</td> </tr> <tr> <td>平成27年 3月</td> <td>岐阜県内小学校（新入生対象）</td> <td>21,000冊</td> <td>寄贈</td> </tr> <tr> <td>平成27年 3月</td> <td>春日井市内小学校（6年生対象）</td> <td>4,000冊</td> <td>寄贈</td> </tr> <tr> <td>平成27年 4月</td> <td>長久手市内小学校</td> <td>4,100冊</td> <td>寄贈</td> </tr> <tr> <td>平成28年 3月</td> <td>岐阜県内小学校（新入生対象）</td> <td>20,000冊</td> <td>寄贈</td> </tr> </table> <p>このほか、各市町村からの要請によりボランティア活動などで活用している。</p>	平成26年10月	大垣市内小学校	10,000冊	寄贈	平成26年12月	海津市内小学校	2,100冊	寄贈	平成27年 3月	岐阜県内小学校（新入生対象）	21,000冊	寄贈	平成27年 3月	春日井市内小学校（6年生対象）	4,000冊	寄贈	平成27年 4月	長久手市内小学校	4,100冊	寄贈	平成28年 3月	岐阜県内小学校（新入生対象）	20,000冊	寄贈
平成26年10月	大垣市内小学校	10,000冊	寄贈																						
平成26年12月	海津市内小学校	2,100冊	寄贈																						
平成27年 3月	岐阜県内小学校（新入生対象）	21,000冊	寄贈																						
平成27年 3月	春日井市内小学校（6年生対象）	4,000冊	寄贈																						
平成27年 4月	長久手市内小学校	4,100冊	寄贈																						
平成28年 3月	岐阜県内小学校（新入生対象）	20,000冊	寄贈																						

銀行名	大垣共立銀行																						
タイトル	ポイントプログラムの引換特典に岐阜県名産品を追加																						
取組み内容	<p>【動機（経緯・きっかけ等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行独自のポイントプログラム「サンクスポイント・プレゼント」の引換特典に、地方創生への取り組みの一環として「岐阜県名産品」を追加。</li> </ul> <p>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サンクスポイント・プレゼント2016」の引換特典に、以下の「岐阜県名産品」（10点）を追加。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="470 745 1445 1267"> <thead> <tr> <th>特典名</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>味わいギフト（飛騨牛ビーフカレー等のセット）</td> <td>36,000</td> </tr> <tr> <td>飛騨牛 モモすき焼き用</td> <td>26,000</td> </tr> <tr> <td>明方ハム2本 明方ボロニアソーセージ1本 醤油フランク5本入セット</td> <td>25,000</td> </tr> <tr> <td>奥美濃古地鶏鍋用セット</td> <td>23,000</td> </tr> <tr> <td>岐阜 五平餅</td> <td>19,000</td> </tr> <tr> <td>美濃いび茶</td> <td>17,000</td> </tr> <tr> <td>長良川物語（鶺鴒せんべい等のお菓子詰め合わせ）</td> <td>17,000</td> </tr> <tr> <td>関孫六 三徳包丁</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>岐阜県産小麦75%（国産小麦100%使用）うどん</td> <td>14,000</td> </tr> <tr> <td>11品の発芽野菜セット</td> <td>14,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県内の名産品を引換特典に加えることで、地方創生の取り組みへの貢献および顧客満足度の向上をはかる。</li> <li>・取扱開始3ヵ月間（平成28年3月～5月）の引換実績は以下の通り（引換のあった特典のみ記載）。引換特典総数（151個）に対する岐阜県名産品の割合は26%であり、新規特典として順調に推移。</li> </ul>	特典名	ポイント	味わいギフト（飛騨牛ビーフカレー等のセット）	36,000	飛騨牛 モモすき焼き用	26,000	明方ハム2本 明方ボロニアソーセージ1本 醤油フランク5本入セット	25,000	奥美濃古地鶏鍋用セット	23,000	岐阜 五平餅	19,000	美濃いび茶	17,000	長良川物語（鶺鴒せんべい等のお菓子詰め合わせ）	17,000	関孫六 三徳包丁	15,000	岐阜県産小麦75%（国産小麦100%使用）うどん	14,000	11品の発芽野菜セット	14,000
特典名	ポイント																						
味わいギフト（飛騨牛ビーフカレー等のセット）	36,000																						
飛騨牛 モモすき焼き用	26,000																						
明方ハム2本 明方ボロニアソーセージ1本 醤油フランク5本入セット	25,000																						
奥美濃古地鶏鍋用セット	23,000																						
岐阜 五平餅	19,000																						
美濃いび茶	17,000																						
長良川物語（鶺鴒せんべい等のお菓子詰め合わせ）	17,000																						
関孫六 三徳包丁	15,000																						
岐阜県産小麦75%（国産小麦100%使用）うどん	14,000																						
11品の発芽野菜セット	14,000																						



銀行名	大垣共立銀行
タイトル	移住定住促進支援
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年6月5日、岐阜県と「移住定住促進に関する協定」を締結</li> <li>・岐阜県への移住者・定住者を増やすことで、岐阜県の地域振興に寄与することを目的として取組みを開始</li> <li>・当行は、岐阜県への移住・定住の促進活動を通じて岐阜県が進める“清流の国づくり”を応援</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住PRコーナーの設置 東京支店・大阪支店・名古屋支店・名駅出張所に設置</li> <li>・名古屋で移住希望者向けセミナーの開催 「清流の国ぎふ暮らしセミナー」と題し月に1回程度開催</li> <li>・住宅ローン「移住・定住プラン」 申込時点で岐阜県外に居住しており、岐阜県へ移住を希望する方を対象とした住宅ローン。住宅ローンの申込条件となる勤続年数の条件を撤廃し、基準金利より引下げた金利を適用する。</li> <li>・リフォームローン「空き家解体・リフォームプラン」 岐阜県内にある住宅に関する「空き家解体」「空き家の防犯対策」「空き家のリフォーム」「賃借物件のリフォーム」に利用できる。勤続年数の条件を撤廃し、基準金利より引下げた金利を適用する。</li> <li>・岐阜で働く魅力を伝える人材育成塾『ぎふ清流塾』を開講 県外の大学に進学している学生向けの岐阜県内企業見学バスツアーを開催 東京・京都・名古屋で学生と県内企業で働く若手社員とのフリートークを開催</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「清流の国ぎふ暮らしセミナー」を1年で延べ11回開催</li> <li>・「ぎふ清流塾」を延べ4回開催</li> <li>・岐阜県への移住希望者向けセミナー開催、移住定住者向けローンの提供、岐阜県外に進学した学生への県内就職促進イベント開催などを通じて、岐阜県の魅力をアピールし、移住定住促進を図っています。</li> <li>・岐阜県への移住・定住者を対象とした専用ローン 2件、20,000千円の実績。</li> </ul>

銀行名	大垣共立銀行
タイトル	春日井市高蔵寺ニュータウンの活性化
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的な人口減少に対応するため、産業及び経済の活性化、地域活力の創造を目指し、春日井市と「地方創生に関する連携協定」を平成27年8月4日に締結。</li> <li>・春日井市では、高蔵寺ニュータウンを始めとした市内への移住および定住の促進や空き家対策に力を入れており、春日井市の地域振興に寄与することを目的として支援を開始</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者との協定締結 平成27年8月4日 春日井市との「地方創生に関する連携協定」締結 平成27年3月16日 春日井商工会議所との連携協定締結</li> <li>・関係者間での協力体制の構築とPR UR賃貸住宅への入居から戸建住宅の購入・転居という、ニュータウン開発当初の流れを再生し、年齢均衡のとれた持続可能な「まち」の創生を目指すため、春日井市、春日井商工会議所、独立行政法人都市再生機構、大垣共立銀行が連携して共同記者会見を実施。市内外へと4者の連携および取り組みをPR 各関係者の役割  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;独立行政法人都市再生機構&gt; 賃貸住居する若年者層を高蔵寺ニュータウン地区に呼び込み、将来、当地での戸建転居につなげる</li> <li>&lt;春日井商工会議所&gt; 地元業者と共同で中古住宅をリノベーションして流通させることで、戸建住宅を購入する際の選択肢を拡大する</li> <li>&lt;大垣共立銀行&gt; 専用ローンを開発して資金面で応援</li> </ul> </li> <li>・住宅ローン「移住・定住プラン」 春日井市高蔵寺ニュータウンへの移住・定住を希望する方を対象とした住宅ローン。住宅ローンの申込条件となる勤続年数の条件を撤廃し、基準金利より引下げた金利を適用</li> <li>・リフォームローン「空き家解体・リフォームプラン」 春日井市内にある住宅に関する「空き家解体」「空き家の防犯対策」「空き家のリフォーム」「賃借物件のリフォーム」に利用 勤続年数の条件を撤廃し、基準金利より引下げた金利を適用</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携により、高蔵寺ニュータウンの賃貸住宅への移住から当地での定住へと切れ目のない流れが形成できたことが、効果を高めている</li> </ul>

銀行名	大垣共立銀行								
タイトル	「OKB森林共和国」における恵みの森林づくりへの取組								
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年5月12日、岐阜県、揖斐川町、OKB大垣共立銀行の三者により、「OKB森林共和国における恵みの森林づくり協定」を締結（協定期間：平成27年5月12日～平成32年3月31日）</li> <li>・本協定に基づき、揖斐川町のスキー場跡地に「OKB森林共和国」を建国し、森林再生に取り組むと共に地域社会との交流を図る。</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <table border="1" data-bbox="480 808 1469 1077"> <tr> <td>名称</td> <td>OKB森林共和国</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>岐阜県揖斐郡揖斐川町日坂1509-15 揖斐高原スキー場グレンデ跡地</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>2ヘクタール</td> </tr> <tr> <td>活動</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマザクラ、カエデ、ヤマグリ、トチ、ウメの植樹・保育</li> <li>・ 地域内外の誰もが参加でき、森林に触れられる環境の整備</li> </ul> </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年6月27日 「OKB森林共和国」建国式典 活動内容：植樹活動、地域交流イベント</li> <li>・平成27年10月24日 OKB森林共和国“秋祭り2015” 活動内容：育樹活動、地域交流イベント</li> <li>・平成28年 4月23日 春の植樹 活動内容：植樹活動</li> <li>・平成28年 6月18日 OKB森林共和国 建国1周年記念式典 活動内容：植樹活動、地域交流イベント</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動で大小370本を植樹</li> <li>・今年6月の建国1周年記念式典は、地域内外より約1,200名が参加</li> </ul>	名称	OKB森林共和国	所在地	岐阜県揖斐郡揖斐川町日坂1509-15 揖斐高原スキー場グレンデ跡地	面積	2ヘクタール	活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマザクラ、カエデ、ヤマグリ、トチ、ウメの植樹・保育</li> <li>・ 地域内外の誰もが参加でき、森林に触れられる環境の整備</li> </ul>
名称	OKB森林共和国								
所在地	岐阜県揖斐郡揖斐川町日坂1509-15 揖斐高原スキー場グレンデ跡地								
面積	2ヘクタール								
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマザクラ、カエデ、ヤマグリ、トチ、ウメの植樹・保育</li> <li>・ 地域内外の誰もが参加でき、森林に触れられる環境の整備</li> </ul>								

銀行名	大垣共立銀行
タイトル	地元体操クラブの命名権（ネーミングライツ）取得による地域スポーツ振興への貢献
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年2月、地域の体操クラブ（NPO法人）が体操専用体育館を購入する際に資金面で援助。</li> <li>・選手の育成、体育館の維持管理には、相応のコストがかかるため、体操クラブから命名権（ネーミングライツ）という形態で資金援助の申し出を受ける。</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年5月、体操クラブの「チーム名」と「体育館名」の命名権を取得し、それぞれを「大垣共立銀行OKB体操クラブ」、「OKB体操アリーナ」とした。</li> <li>・平成27年5月31日には、体育館のオープニングセレモニーが開催され、体操関係者だけでなく、多くの地域住民にご来場いただいた。</li> <li>・当行から体操クラブに支払われる命名権料は、選手の育成や体育館の維持管理に活用され、当行としても広告宣伝効果が期待できるため、双方にとってメリットのある取組みとなっている。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命名権取得、ならびに体育館オープンの記事は地元メディアにも取上げられ、体操クラブの会員数増加に繋がっている。平成28年5月31日現在の会員数は430名となり1年間で230名増加した。</li> <li>・OKB体操アリーナは東海地区で唯一の体操専用体育館であり、体操設備も充実しているため、地元岐阜県における新体操競技、体操競技のレベルアップが期待できる。平成27年11月に開催された全日本新体操選手権では所属の男子選手が種目別競技全4種目で優勝を果たした。</li> </ul>

【体育館 外観】



【体育館 内部】

